

令和3年度第1回 横浜市自転車等施策 検討協議会



令和3年11月12日



議事 1 各施策の実施状況について

議事 2 その他



横浜市自転車活用推進計画

【2019年度～2028年度】



1

各施策の実施状況 について



- ・教育・啓発・指導ができる体制づくり
- ・自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発
- ・自転車保険の加入促進



- ・自転車通行空間の整備状況
- ・重点エリアでの自転車通行空間の整備推進



- ・持続可能な市営駐輪事業のしくみ構築



- ・市内サイクリイベントの開催（道路局後援）
- ・横浜都心部コミュニティサイクル事業 baybike

■方針

■具体の取組

方針 1

**交通ルールを
学べる環境を
つくる**

(1) 切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実

(2) 教育・啓発・指導ができる体制づくり

方針 2

**安全・安心に
自転車を利用
できる環境を
つくる**

(1) 自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発

(2) 自転車保険の加入促進

(3) 安全に乗るための点検・整備方法の周知啓発

まもる 教育・啓発・指導ができる体制づくり

乳幼児保護者向けの取組み（令和元年度から開始）

- ・保護者向けルール啓発チラシを幼稚園・保育所等へ送付→園のニーズを把握しながら検討を重ねる
- ・啓発の行き届かない範囲を補うため、指導者の育成につなげる



自転車販売店と協力した取組み

神奈川県自転車商協同組合や神奈川県自転車防犯協会を通じて、市内自転車販売店の来店者に対する啓発物の配布協力を依頼

【配布啓発物】

- ・サイクルルールブック
- ・自転車保険啓発チラシ
- ・自転車リーフレット
- ・SHARE THE ROADチラシ
- ・店内展示用ポスター



まもる 自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発

● 自転車とクルマ それぞれの運転者に向けた啓発

市の取組 「思いやり SHARE THE ROAD 運動」の推進

- バス事業者との連携による啓発
バス車体への啓発ステッカー貼付
→横浜市交通局 約700台（令和3年5月）
- 民間企業の協力による啓発
事業用車両への啓発ステッカー貼付等
→（有）クリオシティ 約500枚（令和3年6月）
- キャンペーン等でのPR活動
各季交通安全運動・強化月間に合わせて、運動のPR活動を実施
市広報ラジオのリスナー向けプレゼントを展開
（令和3年5月、9月）



- PR動画の作成、YouTube等への公開
安全・安心・快適な道路利用に向けて、運動の趣旨や自転車利用者とドライバー相互に心がけてほしいことを動画にまとめています。
取り組みへの理解が広がるよう、様々な機会を通じて動画を放映中。



◀ 詳しくはこちら
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/anzen/os-hirase/20200629160414229.html>



引き続き、様々な交通事業者等に協力をお願いしていくとともに、運動に賛同いただける市民、事業者が気軽に参加できる方法を検討

まもる 自転車保険の加入促進

● 自転車保険の加入率向上に向けた周知・啓発

市の取組 様々な機会での広報を展開

- (1) 広報紙を通じた啓発
- (2) 公共交通機関等でのポスター掲示等
- (3) ラジオ番組、Twitterなどを通じての啓発
- (4) キャンペーン等での啓発
- (5) 日々の交通安全教室を通じての啓発
- (6) 自転車保険への加入状況調査



加入率向上に向け継続的な取組み

加入状況調査結果の活用

まもる 自転車保険の加入促進

R 2 年度 加入状況調査の結果

加入率（自転車利用者に占める率）

69.2 % 義務化後（R 2.11月）

■ 加入した理由

事故による高額賠償などの
リスクを避けたいから 61.8%

■ 加入しない理由

すぐに加える必要はないと
思うから 26.9%

事故を起こすと思わないから
19.2%

調査結果を踏まえた令和 3 年度の啓発方針

■ 加入動機につながる項目を強調した広報

- ・ 高額賠償のリスク
- ・ 条例で義務化されたこと
- ・ 誰もが事故を起こす可能性

横浜市の告知 横浜市の告知
もし自転車事故の加害者になってしまったら
自転車事故の高額賠償額事例 9,521万円
1億円必要です!!
まさか私が事故なんて!
自転車保険に入っておけばヨカッタ〜
年間2,000円程度〜の掛金で安心を買えるんだ〜
加入は簡単!
郵送やインターネット コンビニエンスストア などでも手続きできます!
045-671-2323

まもる 自転車保険の加入促進

(1) 広報紙を通じた啓発

広報よこはま（令和3年5月号）および
タウンニュース（令和3年8月5日号）に、
自転車保険加入を促進する記事を掲載。

記事を読んで、加入を希望する市民の方から
多くの問合せをいただきました。

5月は「自転車月間」です 自転車保険に加入しましょう！

神奈川県条例により、自転車保険への加入が義務付けられています。1億円近い高額賠償事例も発生していますので、自転車に乗る人は必ず保険に入りましょう。また、自転車に乗る時はルールを守りましょう。



※保険料及び補償内容は保険会社により異なります。横浜市ウェブページに連携事業者による自転車保険一覧を掲載していますので参考にしてください。なお、火災保険や自動車保険の特約で付帯していることもあります。

横浜市 自転車保険 検索

【問合せ】道路局交通安全・自転車政策課 ☎671-2323 ☎663-6868

広報よこはま 2021(令和3)年 5月号 / 横浜市

5月14日～20日は「ギャンブル等依存症相談啓発週間」 ギャンブル等依存症について考えてみませんか？

精神・情緒的な苦悩や不安などが日常生活に支障が出ていませんか。それは、本人の意識の裏でやっと思い込まずには、ギャンブル等の依存症かもしれません。依存症は回復することがあります。自分自身や身近な人のギャンブル等の問題で悩んでいる人は、気軽に相談してください。

- 【依存症相談センター（電話・面談相談）】 無料相談予約制
横浜市こころの健康相談センター（横浜有明町） ☎671-4408
【電話】月～金曜 9時～17時 ☎8545分～17時
- 【横浜有明町保健福祉センター 予約制】
【電話】月～金曜 9時～17時 ☎8545分～17時

【このころの電話相談】 ☎662-3522
【電話】月～金曜 17時～21時30分
土・日曜・祝日 8時45分～21時30分
相談時間外は24時間受付です。原則として相談料は掛りません。
※センターではお電話や来館相談プログラムも実施しています。詳しくはウェブページをご覧ください。

【問合せ】健康福祉局 こころの健康相談センター 依存症相談について ☎671-4408 記事内容について ☎662-3543 ☎662-3525

令和3年度適用の個人住民税に関する税制改正

| | |
|---|--|
| 給与所得控除等から基礎控除への移行 | 公的年金等控除の改正 |
| 給与所得控除及び公的年金等控除を10万円引き下げ、基礎控除の総額を10万円引き上げました。 | ※公的年金等収入が1,000万円超の人の控除額に上限を設けました。 ※公的年金等以外の所得金額が1,000万円超の人の控除額を引き下げました。 |
| 給与所得控除の改正 | 所得基礎控除の軽減 |
| 給与収入が850万円超の人の控除額を195万円に引き下げました。 | 子育て世帯や介護世帯には負担が重なりやすいよう、所得基礎控除額を軽減しました。そのほか、ひとり親に対する税制上の優遇などについて改正しています。 |

控除額などの詳細も、ウェブページをご覧ください。【検索】住民税 税制改正

横浜市営バス バス利用特典サービスの終了について

PASMO・Suicaを対象としたバスサービスで実施していたバス利用特典サービスは、令和3年5月31日をもって、利用サービスの終了となりました。終了までに付された特典バスチケットは、お手持ちのモバイルSuicaに、毎日100円がチャージされます。その後、利用バス定額制や1日乗車券を利用してください。お手持ちのモバイルSuicaに、毎日100円がチャージされるサービスは、5月31日をもって終了となります。詳しくは、ウェブページをご覧ください。

【横浜市交通局】バス

5月は「自転車月間」です 自転車保険に加入しましょう！

神奈川県条例により、自転車保険への加入が義務付けられています。1億円近い高額賠償事例も発生していますので、自転車に乗る人は必ず保険に入りましょう。また、自転車に乗る時はルールを守りましょう。

※保険料及び補償内容は保険会社により異なります。横浜市ウェブページに連携事業者による自転車保険一覧を掲載していますので参考にしてください。なお、火災保険や自動車保険の特約で付帯していることもあります。

【横浜市 自転車保険 検索】

【問合せ】道路局交通安全・自転車政策課 ☎671-2323 ☎663-6868

サポーター補助金制度を活用しましょう！

対象となる以上の高齢運転者（専ら高齢者）を雇用する事業主（法人）です。より安全な自転車利用のために、補助金制度を活用し、サポーター（高齢者）を雇用して、自転車利用の安全確保を図ります。申請方法、対象事業者の詳細は、次世代自転車連携センターに問い合わせください。

【問合せ】次世代自転車連携センター ☎0570-058-850


▲ 広報よこはま（令和3年5月号）

まもる 自転車保険の加入促進

(1) 広報紙を通じた啓発

タウンニュース（地域情報誌）では、記事面とWEB記事を作成し、周知・啓発を実施。

記事面



入ってますか自転車保険
まずは加入状況の確認を

「まさか私が事故なんて…。そう思っただけで…。そう思っただけでも、自転車事故の加害者になってしまった場合、高額賠償が必要になるケースがある。実際に、約9500万円もの高額賠償を命じられた事例（2013年神戸地方裁判所）も起きている。」

自転車保険への加入は19年10月に県条例で義務化。横浜市では自転車利用者に対し「まずは『横浜市自転車保険』で検索し、自身の加入状況を確認しましょう」と呼びかける。自家用車の任意保険や火災保険などに付帯されている場合もある。

横浜市「自転車保険」で検索し、自身の加入状況を確認しましょうと呼びかける。自家用車の任意保険や火災保険などに付帯されている場合もある。補償内容や保険会社によって異なるが、年間2千円程度の掛金で加入できるものもある。郵送やインターネット、コンビニエンスストアなどでも手続可能。保険料などの詳細は各保険会社へ直接、確認を。

■ 横浜市道路局交通安全課 045・671・2323

▲ タウンニュース8月5日号

WEB記事

港北区版 エリアトップへ 掲載号：2021年8月5日号

入ってますか 自転車保険
まずは加入状況の確認を

掲載号：2021年8月5日号

「まさか私が事故なんて…。そう思っただけで…。そう思っただけでも、自転車事故の加害者になってしまった場合、高額賠償が必要になるケースがある。実際に、約9500万円もの高額賠償を命じられた事例（2013年神戸地方裁判所）も起きている。」



自転車保険への加入は19年10月に県条例で義務化。横浜市では自転車利用者に対し「まずは『横浜市自転車保険』で検索し、自身の加入状況を確認しましょう」と呼びかける。自家用車の任意保険や火災保険などに付帯されている場合もある。

補償内容や保険会社によって異なるが、年間2千円程度の掛金で加入できるものもある。郵送やインターネット、コンビニエンスストアなどでも手続可能。保険料などの詳細は各保険会社へ直接、確認を。

■ 横浜市道路局交通安全課 045・671・2323

▲ タウンニュースWEB版8月5日号

まもる 自転車保険の加入促進

(2) 公共交通機関等でのポスター掲示等

- 調査の結果、通勤・通学で自転車を利用する方が多いことから、市内公共交通機関等にて、ポスター等を掲示し、広報・周知を行いました。

【ポスター掲示先】

- ・ J R線市内6駅（駅貼り広告）
- ・ 市営地下鉄ブルーライン（車内広告）
- ・ 市営バス（車内広告）
- ・ 相鉄線（車内広告）



▲JR横浜駅 駅貼り広告の様子

そのほか、市営自転車駐車場等への再掲示を検討中

まもる 自転車保険の加入促進

(3) ラジオ番組、Twitterなどを通じての啓発

- 市広報ラジオ番組やTwitterにて、広報・周知を行いました。

【ラジオ番組名】

- YOKOHAMA My Choice ! (FMヨコハマ)
 - Service Announcement(インターFMPublic)
- 自転車保険加入PR動画を作成し、YouTube等にて公開しました。
加入促進に向けて強調していく3項目（高額賠償のリスク、条例で義務化されたこと、誰もが事故を起こす可能性）を踏まえた内容になっています。



◀ 詳しくはこちら
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/anzen/rule-manner/zitensyahoken.html>



まもる 自転車保険の加入促進

(4) キャンペーン等での啓発

- 各季交通安全運動・強化月間に合わせて、自転車保険加入促進に向けた広報・周知を行いました。



▲ サイクルスタイル@横浜赤レンガ倉庫 (5月15日実施)



▲ 横浜市秋の交通安全キャンペーン (9月28日実施)

(5) 日々の交通安全教室を通じての啓発

- 本市で実施している交通安全教室などの機会を通じて、自転車保険加入促進に向けた広報・周知を行っています。

まもる 自転車保険の加入促進

(6) 自転車保険への加入状況調査

令和2年度の調査結果を踏まえた令和3年度の啓発方針

■ 加入動機につながる項目を強調

- ・ 高額賠償のリスク
- ・ 条例で義務化されたこと
- ・ 誰もが事故を起こす可能性

■ 世代別に応じた効果的な媒体を活用

- ・ 10～20歳代：SNS（Twitter、Facebook）、インターネットニュースなど
- ・ 30～50歳代：インターネットニュースなど
- ・ 60歳代：新聞、地域情報誌、雑誌、広報紙など
- ・ 70歳代以上：新聞、地域情報誌、雑誌、広報紙など
- ・ 全世代：テレビ、ラジオなど

令和3年度も加入状況調査を実施

まもる 自転車保険の加入促進

令和3年度 加入状況調査 実施中

- ① 調査対象：無作為抽出 6歳以上 5,000人
- ② 調査期間：令和3年10月18日～11月18日
- ③ 調査方法：A3両面 16問の調査票を郵送
- ④ 調査内容：自転車利用の有無、自転車保険加入有無、加入した(しない)理由、自転車ルールについて知っていること、実際に行っていること 等



次年度の自転車保険加入促進啓発・自転車活用施策に反映

■方針

■具体の取組

方針
1

地域の自転車
ネットワークを
つくる

(1) 重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

(2) 都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進

方針
2

地域をつなぐ
広域ネットワーク
をつくる

広域的な自転車ネットワークの形成

方針
3

安全で快適な
自転車通行環境を
つくる

自転車通行環境の快適性向上

- 令和3年度は下記の工事及び委託を実施

工事

| 路線名 | 整備箇所 | 整備形態 | 延べ延長 |
|------------|------------------|----------|---------|
| 主要地方道環状4号線 | 泉区上飯田町 | 自転車専用通行帯 | 約500m |
| 市道汐入豊岡線 | 鶴見駅周辺 (重点エリア) | 矢羽根型路面表示 | 約500m |
| 市道矢部第281号線 | 戸塚駅周辺 (重点エリア) | 矢羽根型路面表示 | 約1,000m |

委託

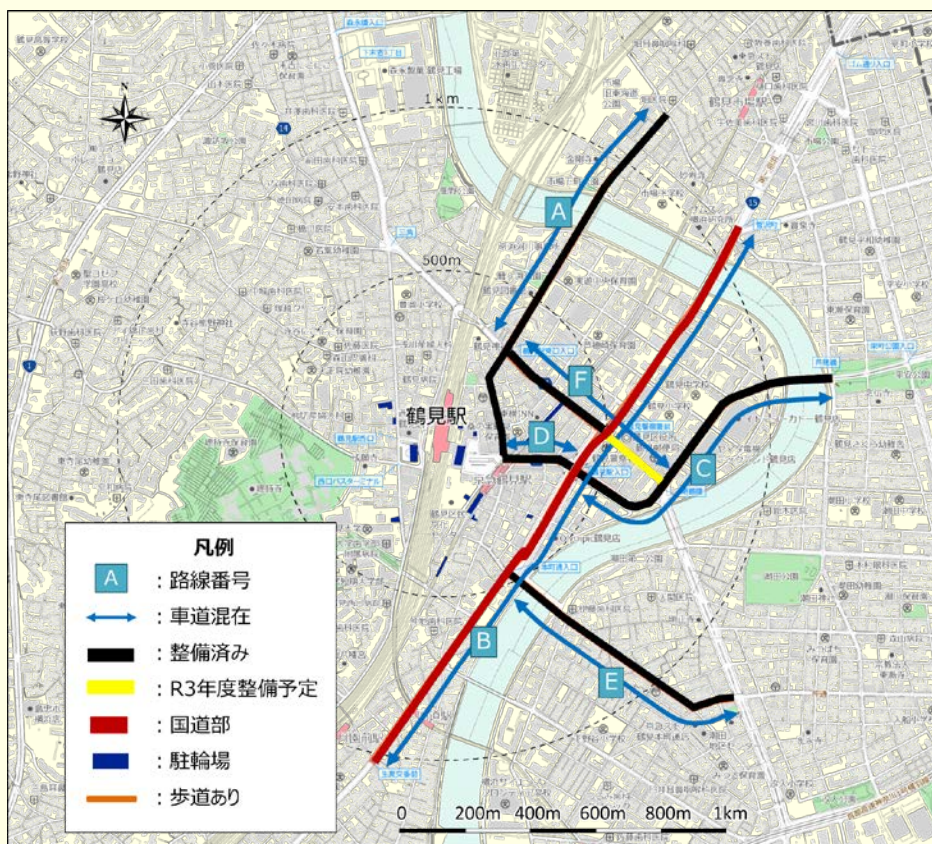
金沢文庫駅周辺地区自転車通行空間整備実行計画策定業務委託

重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

■ 鶴見駅周辺 自転車通行空間整備について

令和2年度に、C路線、D路線、F路線（一部）を整備。

今年度はF路線（残区間）、B路線（国道部）の整備を予定。



R2整備箇所（C路線）

■ 車道混在(矢羽根型路面表示)のイメージ



事例：鶴見駅前郵便局付近

■ 戸塚駅周辺 自転車通行空間整備について

令和2年度に、C路線（一部）の整備。

今年度は、A路線の整備を予定。



R2整備箇所（C路線）

■ 車道混在(矢羽根型路面表示)のイメージ



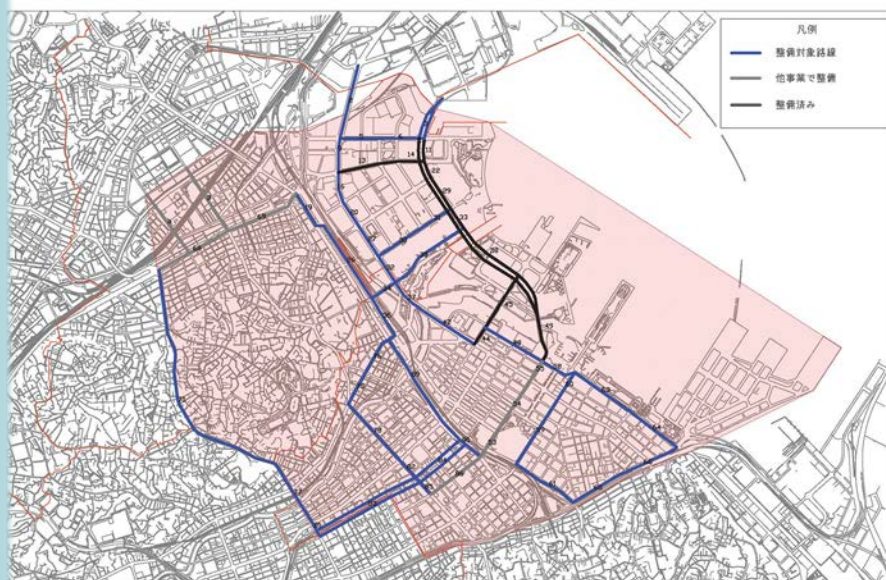
事例：戸塚駅周辺（C路線）

■ 都心臨海部 自転車通行空間整備実行計画について

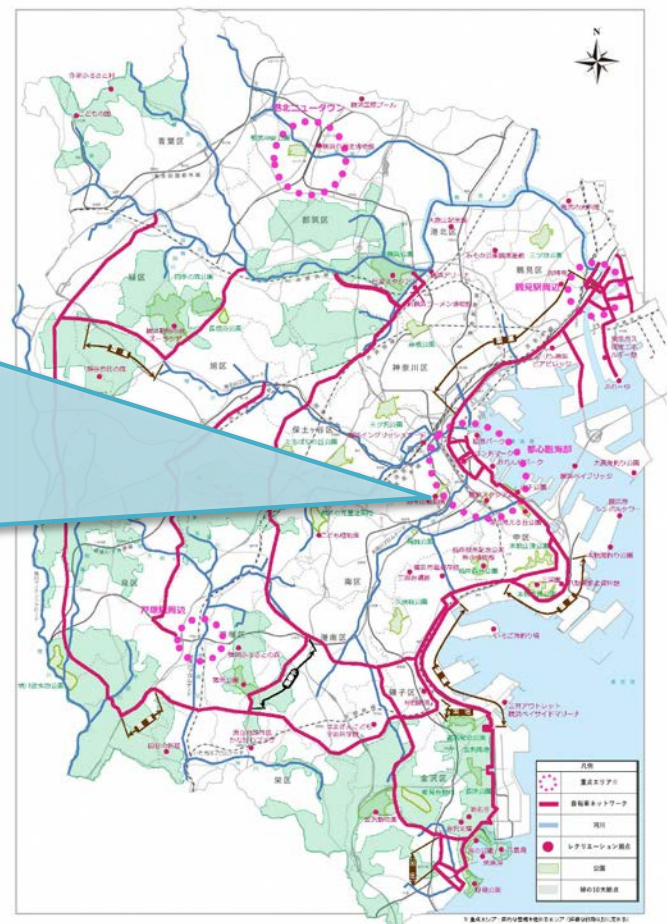
「都心臨海部自転車ネットワーク構想」を基に、

自転車関連事故の発生状況や**公共施設**、**自転車駐車場**へのアクセス等を考慮し実行計画（案）を作成。

R3年度内の計画策定を目指し、関係機関と調整中。



都心臨海部 対象区域



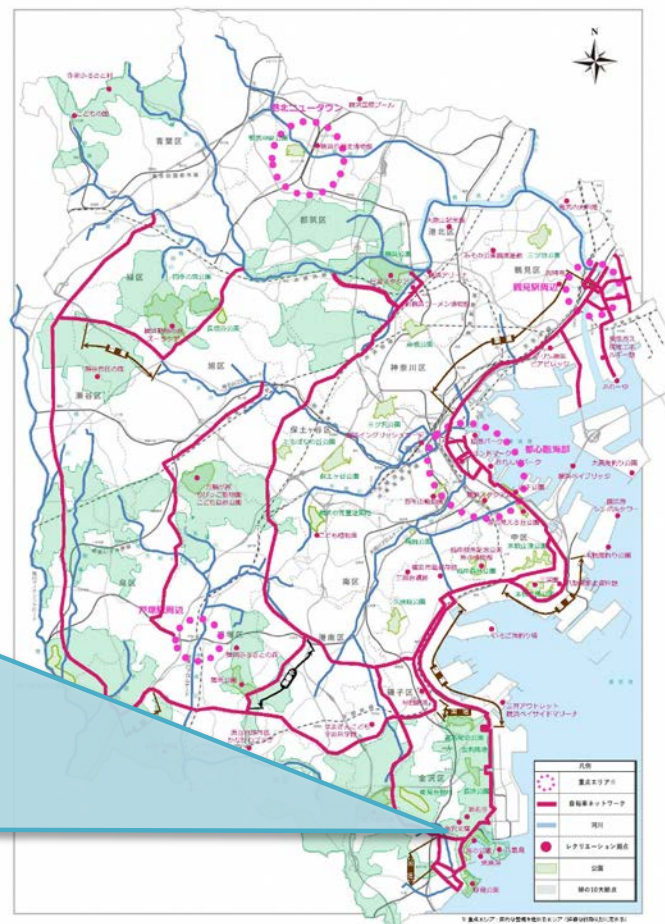
重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

■ 金沢文庫駅周辺 自転車通行空間整備実行計画について

自転車関連事故の発生状況や自転車利用台数等から
金沢文庫駅周辺を新たに**重点エリア**に指定し、
実行計画策定に向け、交通量調査や整備路線の検討中。



金沢文庫駅周辺 対象区域



■方針

■具体の取組

方針 1

目的に応じた
駐輪場の「量」
を確保する

(1) 買い物等の集客施設での利用に応じた駐輪場の確保

(2) 鉄道利用等に対応した駐輪場の拡充

方針 2

サービスの
「質」を高める

(1) 市営自転車駐車場のサービス向上

(2) 持続可能な市営駐輪事業のしくみ構築

方針 3

まちに適した
駐輪対策を進める

地域、民間、行政の連携による駐輪対策の実施

- 令和3年3月に協議会から受領した「持続可能な自転車駐車場のあり方について 答申」の内容を踏まえ、市の方向性を検討

横浜市自転車等施策検討協議会 最終更新日 2021年8月11日

[印刷する](#)

お知らせ

令和3年3月26日に「横浜市自転車等施策検討協議会」（会長：岡村敏之東洋大学教授）から、「持続可能な自転車駐車場のあり方について」の答申をいただきました。

[持続可能な自転車駐車場のあり方について 答申 \(PDF: 1,738KB\)](#)



平原副市長へ答申書を手渡す岡村会長（写真左）

市公式サイトに答申の受領について掲載、答申全文を公開

- 弥生台駅北口自転車駐車場(相鉄いずみ野線)について、公共的な自転車駐輪機能を維持したまま土地の有効な利活用を図る取組を開始

公募貸付(定期借地)の取組

市営弥生台駅北口自転車駐車場について、公共的な自転車駐輪機能を維持したまま土地の有効な利活用を図るため、総合評価公募型プロポーザル方式による公募貸付(50年の一般定期借地)を実施

■ 事業者募集期間

令和3年10月22日～12月27日

■ 対象地の概要

所在: 泉区弥生台6-2(弥生台駅徒歩1分)

面積: 1897.97㎡(宅地)

貸付価格: 630,126円/月以上

用途地域: 第一種住居地域(200%,60%)

■ 附帯施設の整備要件

・公共的駐輪機能260台

・地域貢献施設100㎡以上 ・地域防災、温暖化対策施設



■方針

■具体の取組

方針 1

健康的な
「ライフスタイル」
にいかす

(1) 自転車を活かした健康づくりの支援

(2) サイクルスポーツへの興味を高める取組推進

方針 2

横浜らしい
「まちづくり」
にいかす

(1) 観光や賑わいのあるまちづくりでの自転車活用の推進

(2) まちづくりと連携した自転車活用の推進

横浜の魅力再発見に加え、スポーツサイクルの新しい楽しみ方を提案するイベントとしてサイクルスタイル2021が開催。

開催期間：令和3年5月15日（土）～16日（日）10：00～17：00

場所：横浜赤レンガ倉庫（横浜市中区新港1-1）

主催：ヨコハマサイクルスタイル実行委員会

後援：横浜市道路局

協力：（一社）自転車キャンプツーリズム協会／（一社）e-Mobility協会

入場者及び参加者数：一般来場者約4万人

イベント参加数（試乗者受付数）600名（2日間）

市街ツーリング参加数80名



①ブース出店、トークショーやバーチャルサイクリング体験などのステージコンテンツ

- ・国内外を問わず、自転車に関連する様々なメーカーや企業によるブースの出店
- ・新しいモビリティに関するミニシンポジウムや「自転車×キャンプ」をテーマとしたトークショーの開催
- ・バーチャルサイクリングアプリ「ROUVY」を使った、横浜みなとみらいコースでの疑似レース
- ・横浜市道路局も交通安全の啓発活動としてブースを出展



②みなとみらい地区におけるツーリングイベント

・ヨコハマ e-Bike ツアー

→横浜赤レンガ倉庫をスタートし、野毛動物園まで巡る1周約8 k mのコースを走り、みなとみらい地区を観光しつつ、e-Bikeにおける坂道走行の快適性を体験。



・ヨコハマ Photo & Café Ride

→ミッションシートに印刷された10箇所の写真と同じ場所の写真を撮って帰ってくるというイベント
自転車の回遊性とフォトジェニックなスポットを組み合わせ、横浜の魅力を再発見。
→交通安全・自転車政策課の職員も参加しました。



■ 報告内容

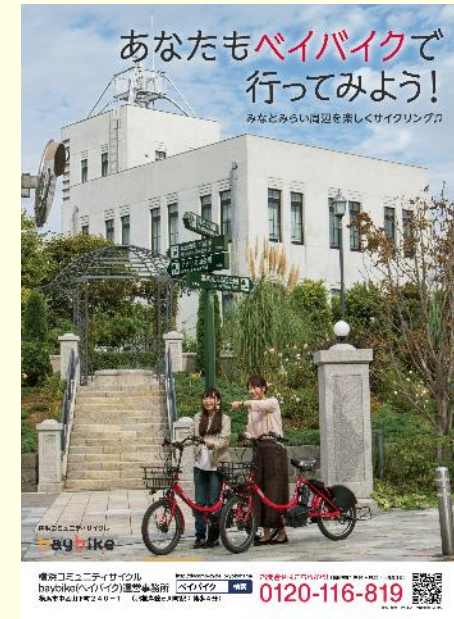
1. 事業の概要
2. 事業の成果
3. 利用の分析
4. 直近の取組
5. 課題と解決策
6. 今後の展開

いかす

1.事業の概要

■ 事業の概要

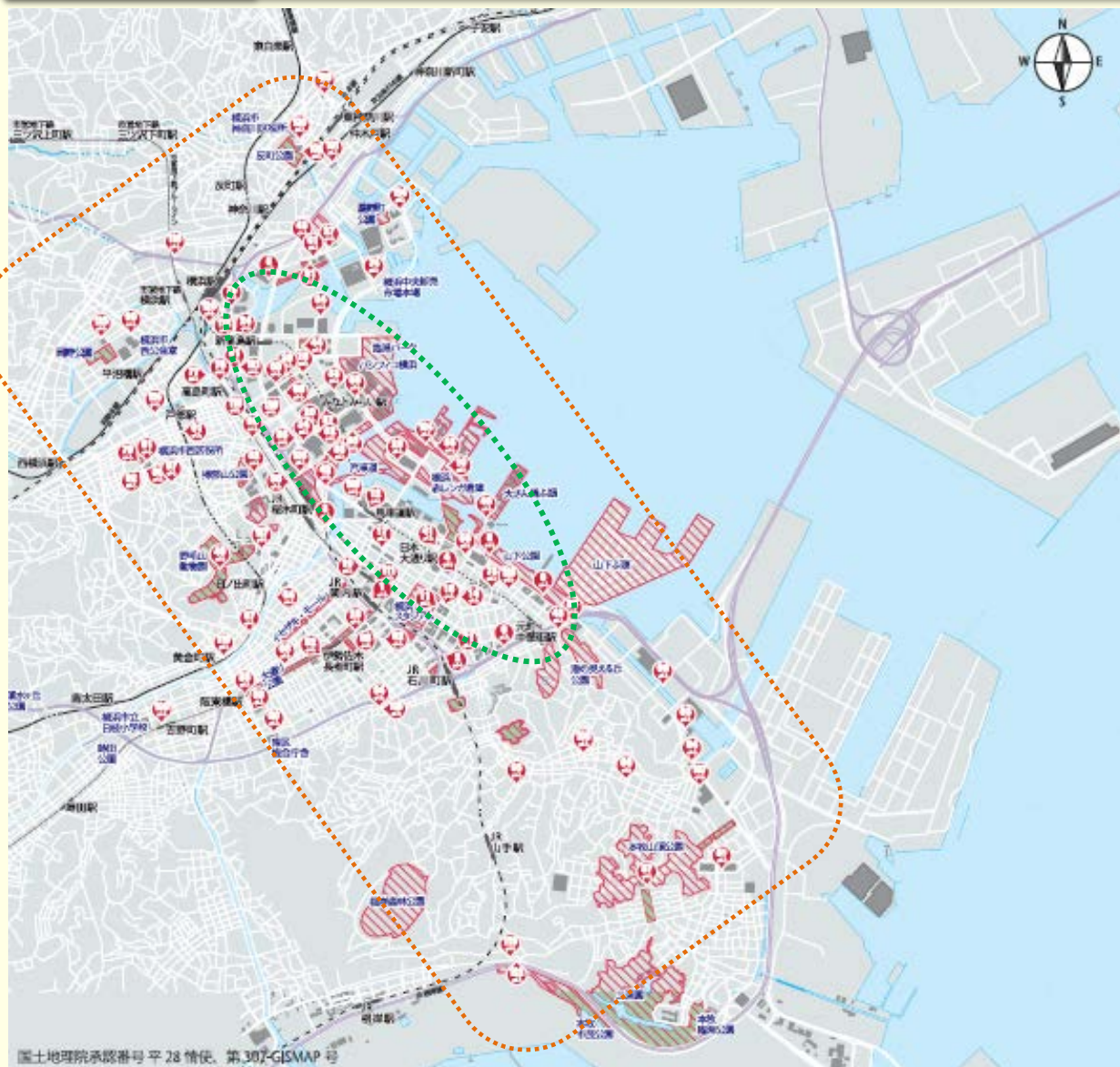
- **期間**：平成26年4月1日～令和6年3月31日（予定）
- **地域**：都心臨海部を中心とする地域（中区全域、西区・神奈川区・南区の一部）
- **規模**：自転車900台、サイクルポート106箇所（10月末時点）
- **体制**：（実施主体）横浜市 都市整備局 –事業の統括
 （運営主体）株式会社ドコモ・バイクシェア –施設の整備、事業運営



【写真】 学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校との連携による啓発ポスター

いかす

1.事業の概要

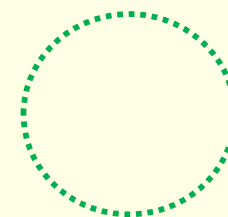


■事業の展開エリア

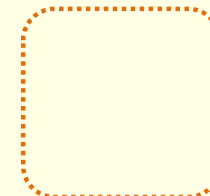
- ▶ 利用促進、課題解決を目的に、サイクルポートを拡充
- ▶ 都心部エリアの、サイクルポート密度は、国内有数の高密度エリアとなっている

→13.3か所/km²

(令和2年度：約77か所)



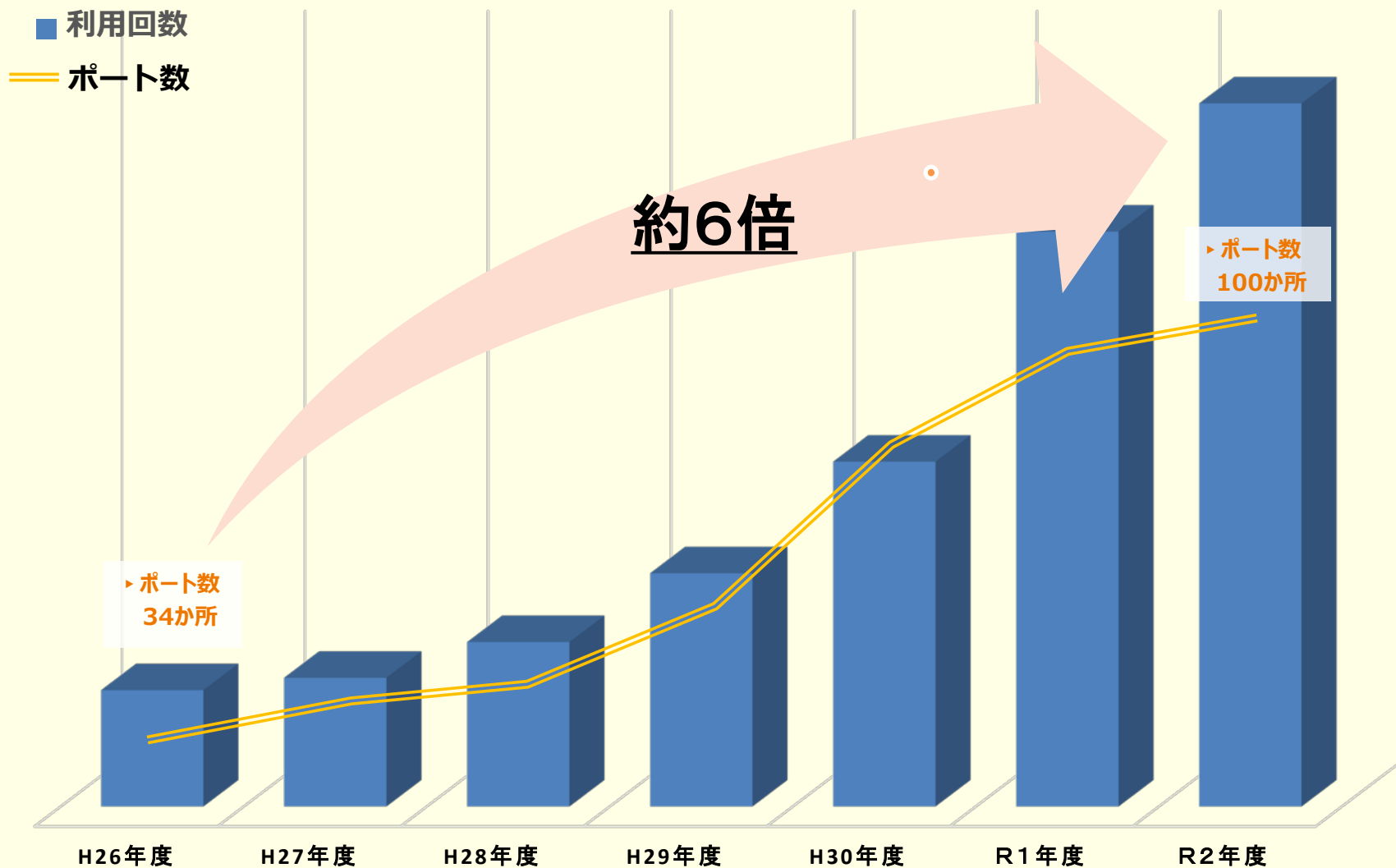
・・・事業開始時



・・・現在のエリア

いかす

2.事業の成果 - 利用実績



いかす

2.事業の成果 - 利用実績

ベイバイク ポートマップ

①事業開始時（H26年度）のサイクルポート数：34か所

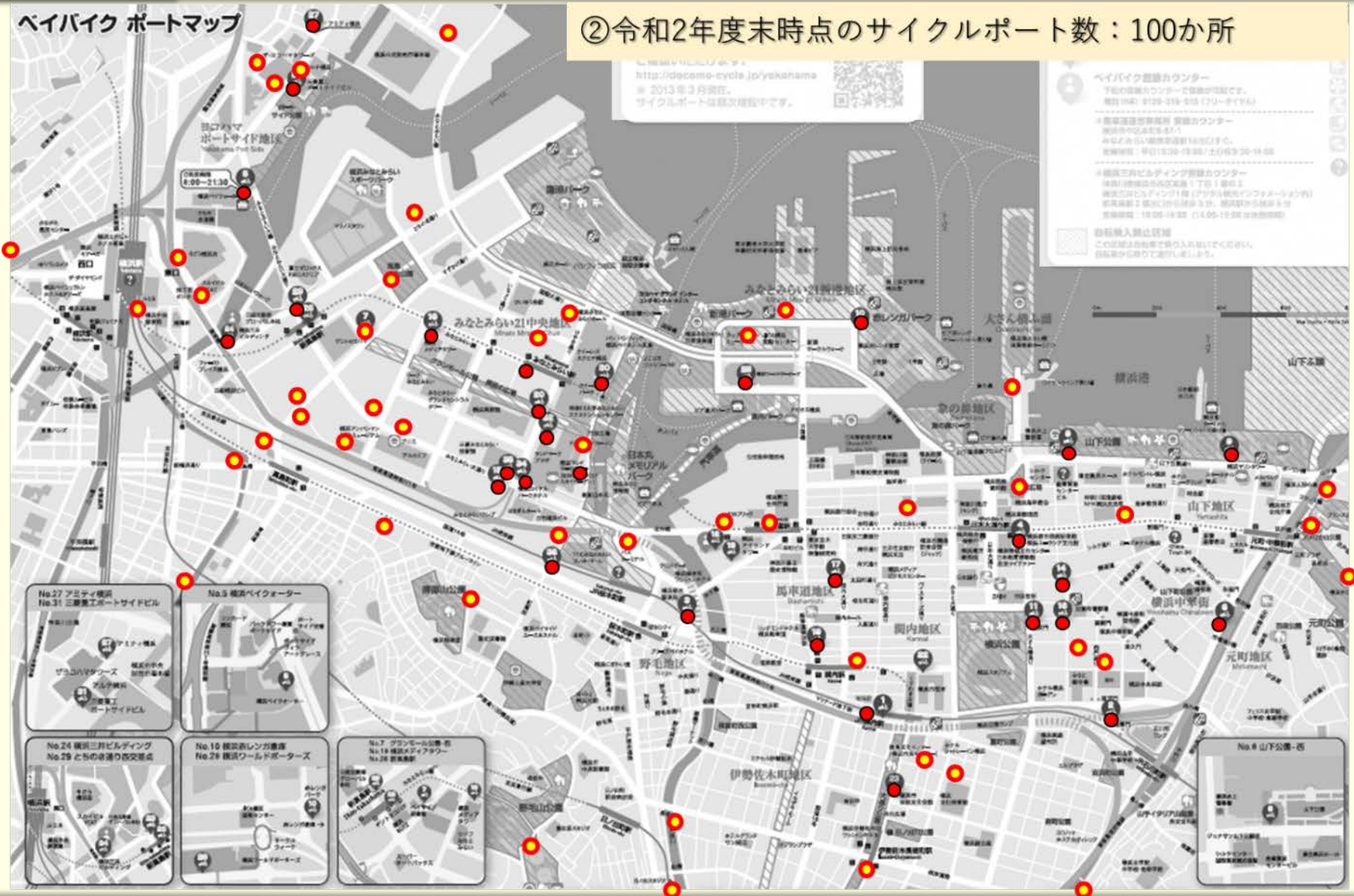


いかす

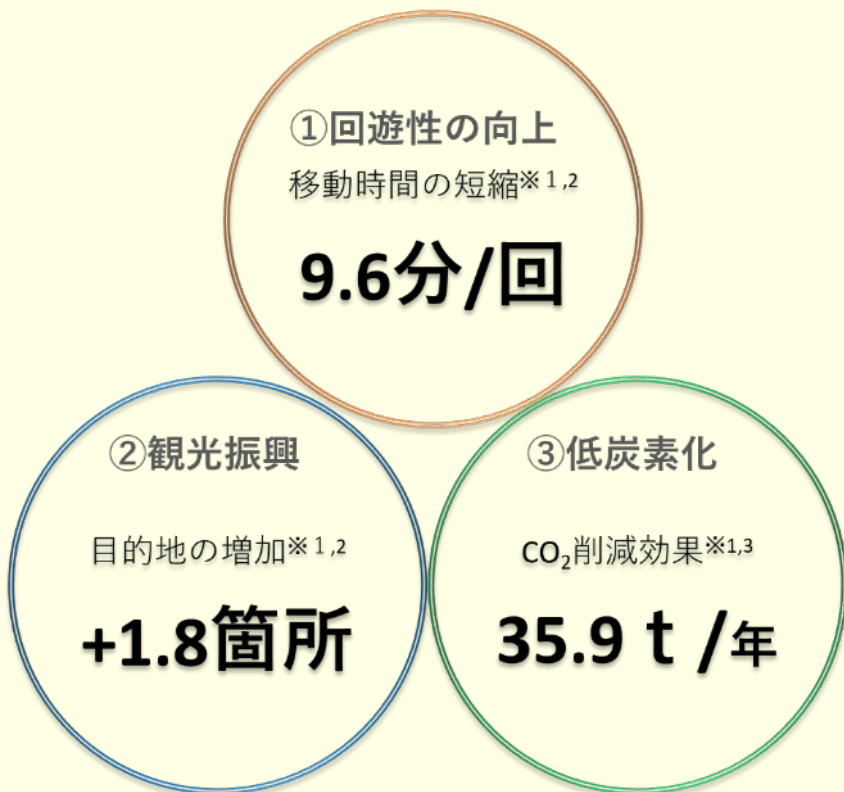
2.事業の成果 - 利用実績

ベイバイク ポートマップ

②令和2年度末時点のサイクルポート数：100か所

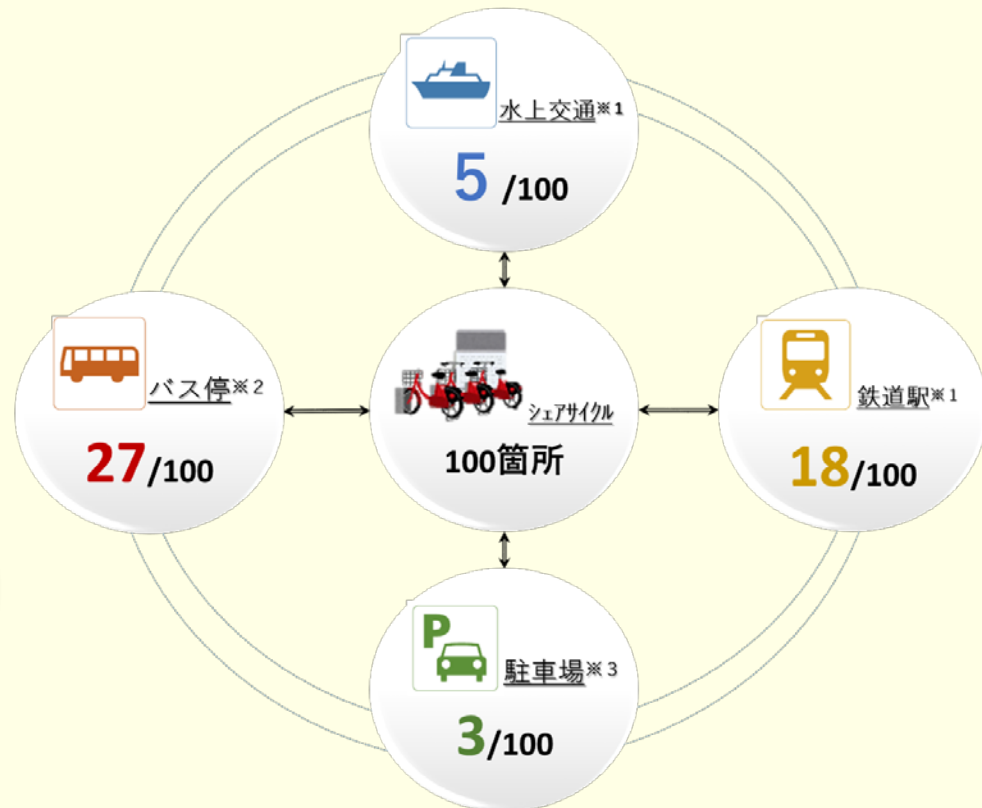


■ 事業目的と効果測定



※1 令和元年度アンケート結果をもとに試算
 ※2 通勤以外の目的で利用する方が対象
 ※3 自動車・タクシーからの転換率

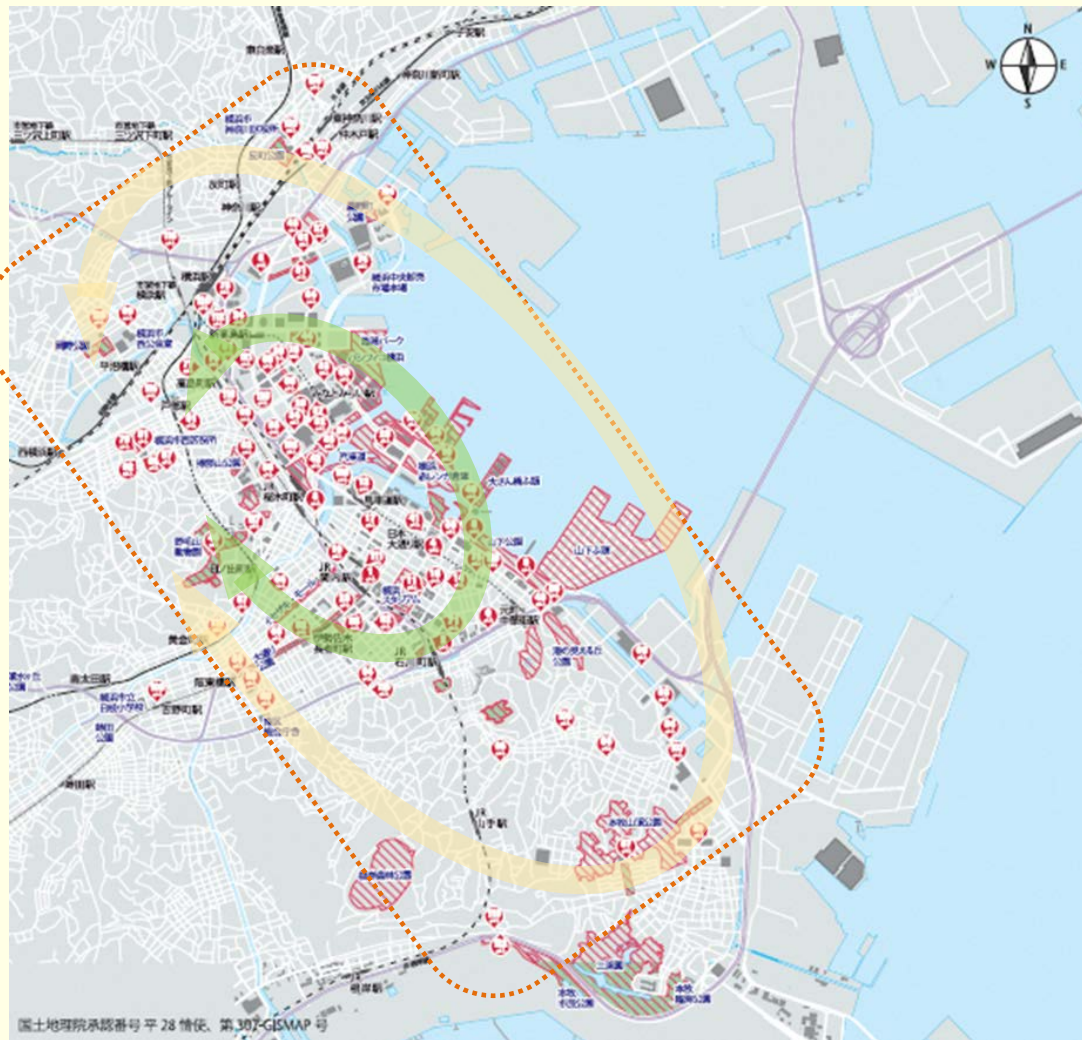
■ 公共交通との連携状況



※1 乗場、出入口から100m程度の範囲に設置したもの
 ※2 最寄りバス停から50m程度の範囲に設置したもの
 ※3 駐車場土地内に設置したもの

いかす

3.利用の分析 – 利用状況



■ 直近の状況

- ▶ 会員登録 : 約160,000人
- ▶ 目標利用回数 : 100,000回/月

■ 主な利用イメージ

- ▶ 目的ごとの利用特徴

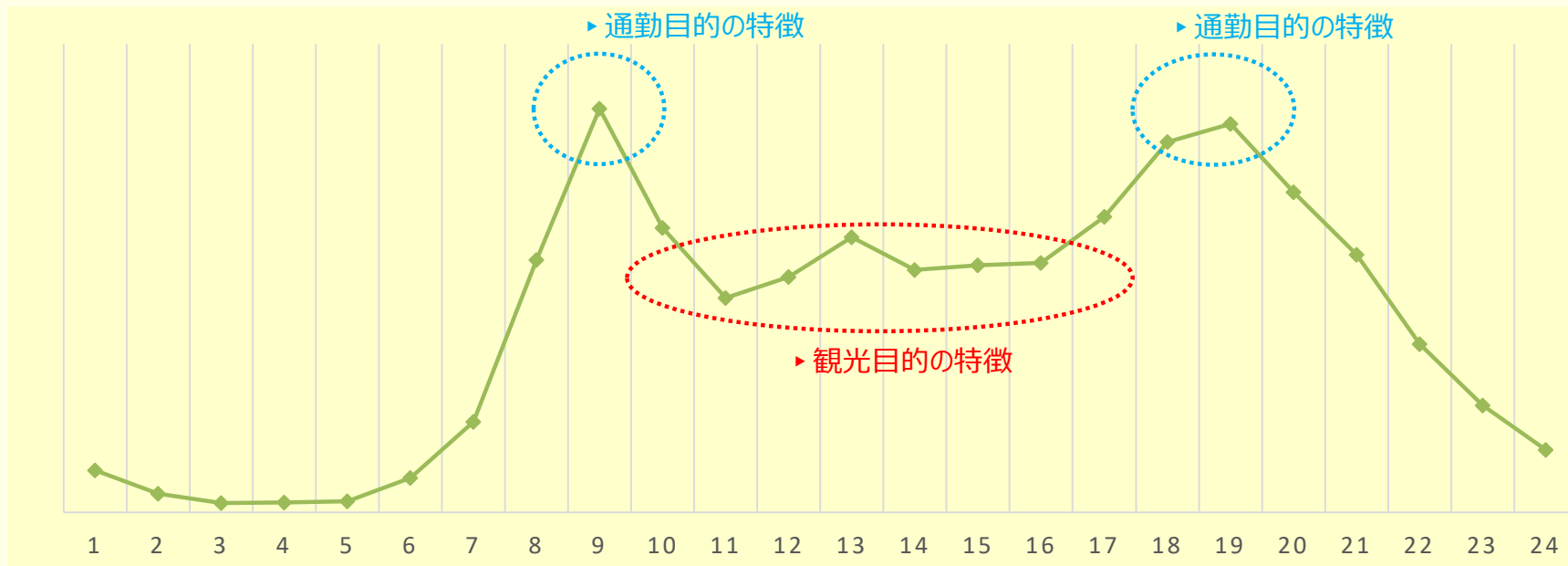
通勤目的 : 短距離・15分程度

観光目的 : 中距離・30分程度

- ▶ 移動イメージ

サイクルポートが高密度な“MM地区”
を中心に回遊するとともに、周辺地区へ
拡がりを見せる。

■ 時間帯ごとの利用状況

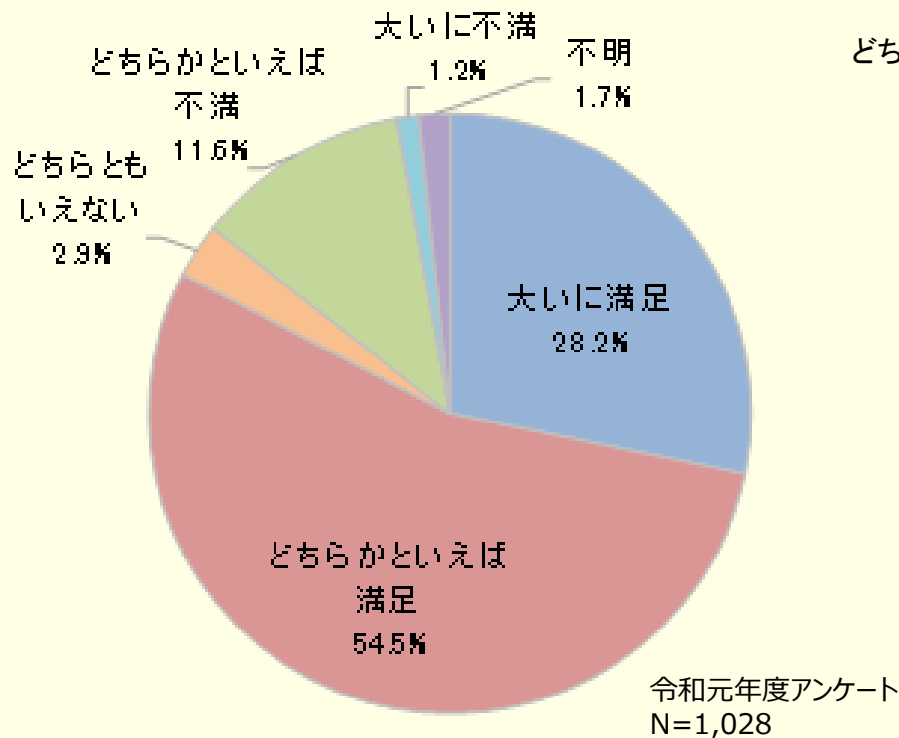


● 利用の特徴

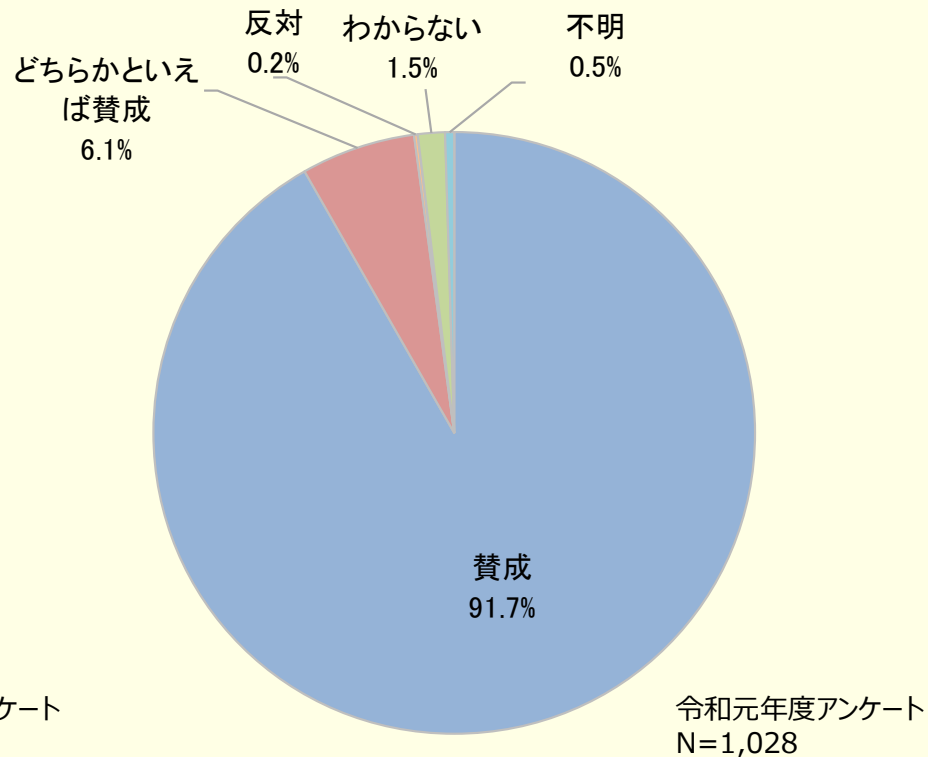
- 通勤目的の利用は、朝夕時間帯の利用増加が顕著になっている
- 観光目的の利用によって、昼時間帯の利用も比較的多くなっている
- 夜間帯も一定の利用（需要）がある

3.利用分析 - 利用者の満足度

■ 事業全体に対する満足度



■ 事業の継続について



● 利用者アンケート調査の結果
約 8 割の方がサービスに満足、約 9 割の方が事業継続に賛成と回答

■ 新型車両の導入

→軽量化した車両の導入により、
操作性・快適性が向上
※令和3年度末までに600台入替予定



1

わかりやすいインターフェース

- ボタン・音・光の案内により直感的に操作が可能
- QRコードでワンタッチ開錠
- ボタンを最小限にすることで操作に迷わない

2

メンテナンスしやすい構造

- 破損しにくい丸みを帯びた形状の操作パネル
- 堅牢なサークル錠
- 万が一の故障時も簡単に交換できる設計

3

様々なモビリティを想定した設計

- 従来品より省電力化を実現
- 汎用的な接続インターフェース
- 操作部分と鍵部分は分離が可能



■ サービス利便性の向上

アプリをリニューアルすることで、より利便性を向上。



- アプリ上のMAPから一目で台数確認、バッテリー残量が確認できる
- 利用履歴やアカウント情報をすぐに確認できる（他地域との共通アプリ）
→利便性が格段に向上し、ますます利用しやすいサービスに。

■ 利用が多いサイクルポートの状況



■ 局所的な台数制限の実施



(台数制限の概要)
 開始時期：令和2年12月～
 実施箇所：9か所

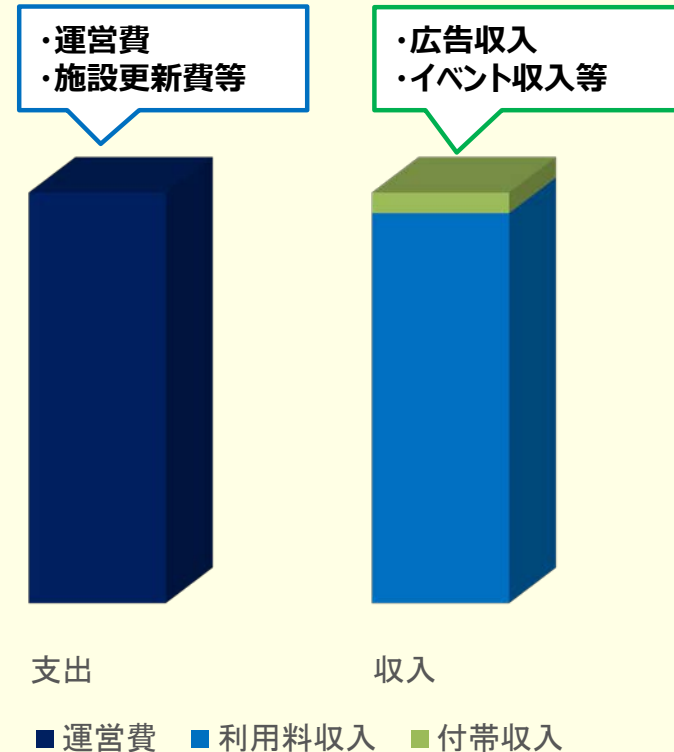
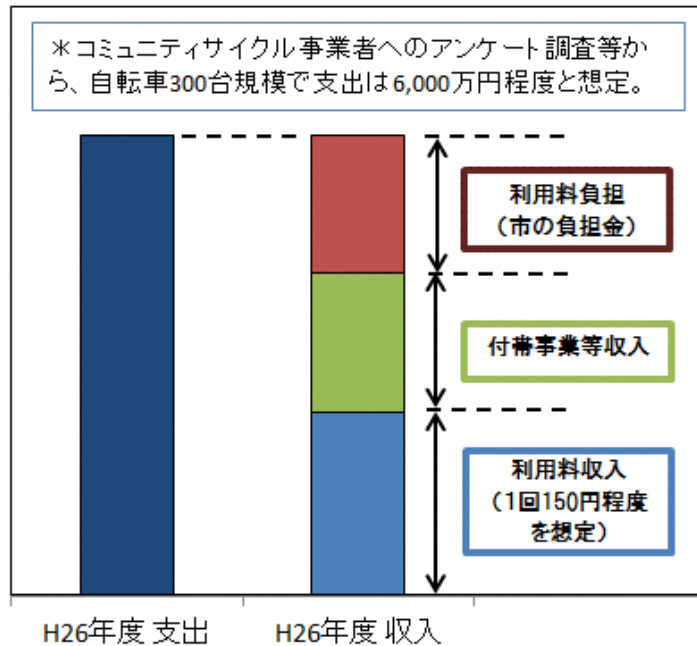
- 台数制限機能は、利用機会の損失を起こす可能性が高い。
- 溢れが課題となっているポートに対し、“**台数制限機能**”と“**利用分析による的確な再配置**”の併用により、利用状況を維持したまま、歩道への自転車の溢れを防止

■ 事業開始当初の想定

■ 支出と収入イメージ

【図-1】自転車300台、ポート30か所規模の収支イメージ

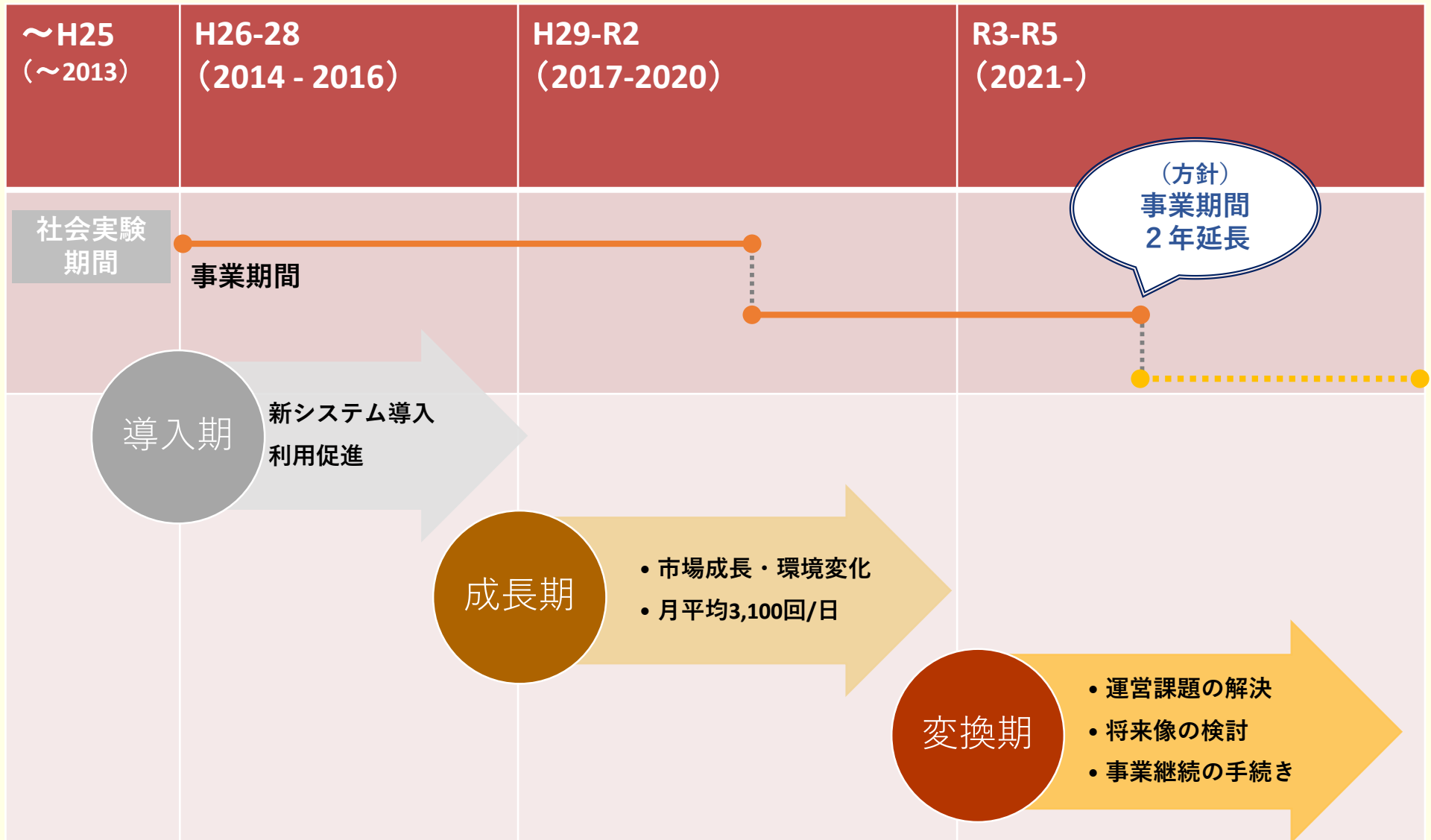
＊コミュニティサイクル事業者へのアンケート調査等から、自転車300台規模で支出は6,000万円程度と想定。



- 収入は、利用料収入による部分が大半で、広告収入等の付帯収入の確保が課題。
- 自転車入替など施設更新の時期を迎え、運営コストに加え、施設更新費など支出が増加。
→横浜市と事業者の協力のもと、**持続可能な事業スキームの構築**が必要となっている。

いかす

6. 今後の展開



■ 今後の展開（事業期間 2 年間）

1

課題解決と更なる利用促進

- ▶ 時間帯による自転車の偏りなど利用増加に伴う課題の解決
- ▶ サイクルポートの充実等による利用促進

2

横浜都心部コミュニティサイクル事業の将来像検討

- ▶ 持続可能な事業スキームの検討、市の関与や政策的位置づけの整理
- ▶ 事業者との対話等による検討の深度化
- ▶ 将来像実現に向けた事業継続の手続き